

2014年4月1日

PRESS RELEASE



民間防災および
被災地支援ネットワーク
Corporate Volunteer Network

4月24日、『災害支援の手引き』発行記念イベント 「企業がもつ災害支援の可能性」を実施します！

3年前の東日本大震災からの復旧・復興支援を通して、企業、NPO、中間支援組織間での連携が進みました。そこでつながったネットワーク「民間防災および被災地支援ネットワーク」では、東日本大震災の経験をもとに将来の大災害への実務的なヒントをまとめた『災害支援の手引き』を発行しました。4月24日、記念イベントを開催します。

「災害時の寄付先はどのように選べばよいのか?」「支援物資を送りたいけれどそのコンタクト先は?」「ボランティア活動時の事故や怪我にはどう対応するのか?」など、東日本大震災では、多くの企業が前例も経験もない中、一から受け入れ先や支援先、支援方法を検討し実行してきました。『災害支援の手引き』は、CSR担当者など、当時災害支援の実務を担ってきたメンバーが編集委員となり、自分たちの経験が今後の災害時に役立てようとボランティアで執筆・編集に当たりました。

4月24日のイベントでは、製本した冊子の販売開始をお知らせするとともに、ゲストや編集委員が登壇し、平時から企業が備えておくべきこと、そこで必要となる組織・セクターを越えた連携について考えます。本件に関する事前告知・当日の取材など、ぜひご検討ください。

■ 『災害支援の手引き』発行記念イベント 概要

【タイトル】 「企業がもつ災害支援の可能性 ～東日本大震災から今後を考える～」

【日時】 2014年4月24日(木) 16時～18時

【場所】 日本財団ビル内 1階 バウルーム (東京都赤坂1-2-2)

【定員】 100名 ※要事前予約

【参加費】 お一人1,000円 (『災害支援の手引き』の冊子を1冊お渡しします)

【予約先】 「民間防災および被災地支援ネットワーク」事務局
TEL. 03-3363-7967 (ピースポート災害ボランティアセンター内)
オンライン: http://cvnet.jp/news/20140326_event/

【登壇者】

[ゲスト] 岡本全勝氏(復興庁統括官)／笹川陽平氏(日本財団会長)／橋本孝之氏(日本IBM会長)

[パネル・ディスカッション／※編集委員] 鈴江茂敏(パルシステム生活協同組合連合会 地域支援本部 地域活動支援課課長)／本山聡平(サノフィ株式会社 渉外本部 CSR推進部 部長)／矢野薫(オルビス株式会社 いつもプロジェクト)／山本隆(ピースポート災害ボランティアセンター代表理事／※当日モデレーター)

■ 『災害支援の手引き』概要

東日本大震災での経験をもとに、「民間防災および被災地支援ネットワーク」が編集した民間企業による災害支援の手引き書。「ヒト、モノ、カネ、情報」の分野で、平時から担当者が知っておくべき災害支援の具体例や実務上のノウハウをまとめています。全62ページ、1,000円。

※右記ホームページより無料ダウンロードで閲覧できます。 cvnet.jp

● このリリースに関するお問い合わせ、編集委員への取材のご希望は、

民間防災および被災地支援ネットワーク事務局 (ピースポート災害ボランティアセンター内) 担当: 田山
TEL. 03-3363-7967 MAIL. info@cvnet.jp